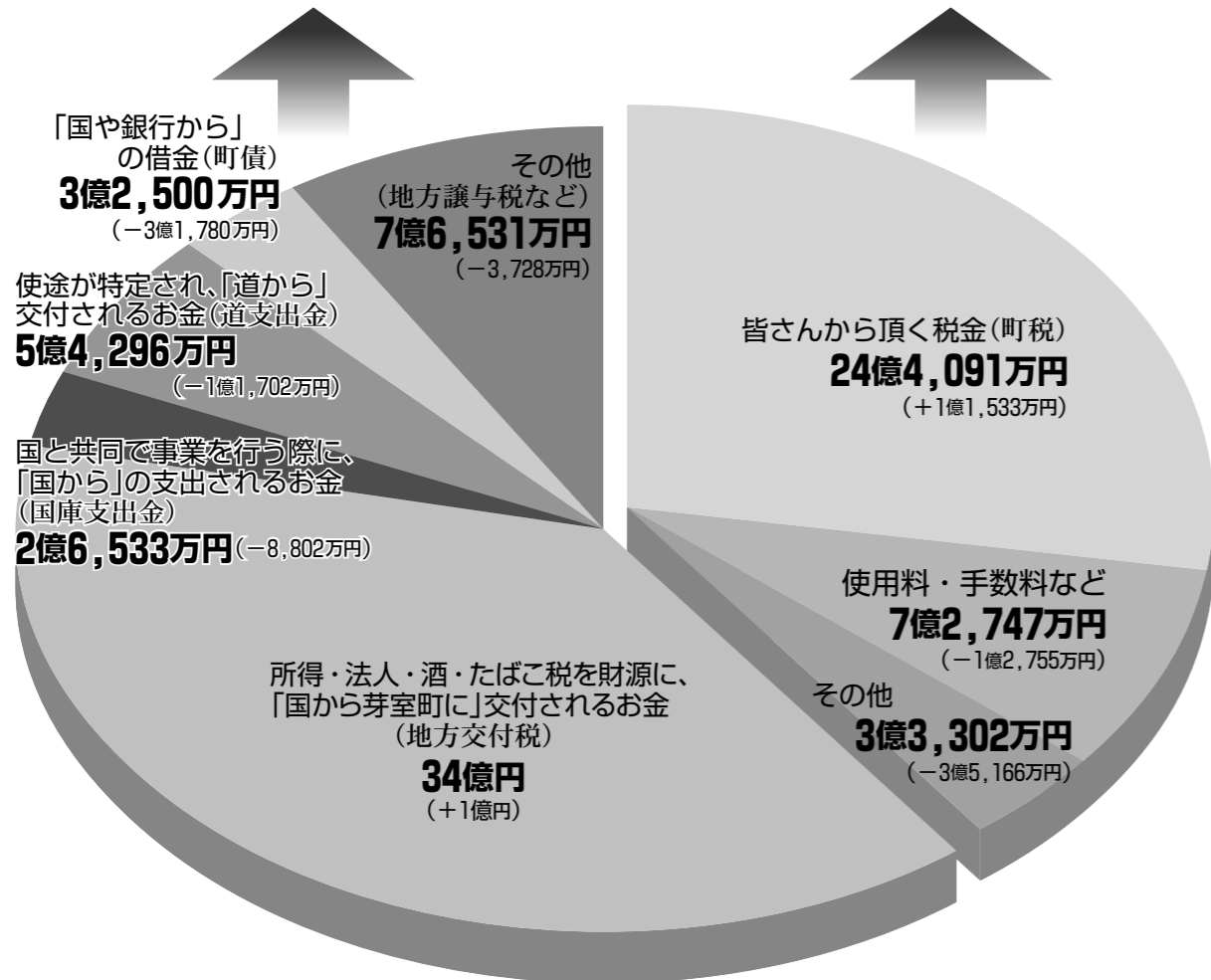


# 収入 88億円

国や道から交付・補助されるお金(依存財源)  
52億9,860万円(-4億6,012万円)

町が自ら確保する収入(自主財源)  
35億0,140万円(-3億6,388万円)



## 町税や地方交付税が増！貯金を崩さずに予算編成！！

町が自ら確保する収入(自主財源)のうち、皆さんから頂く税金(町税)が約1億1,500万円増えています。これは、平成20年度から導入する「都市計画税」(約5,700万円)、東めむろ地区などの住宅建設や企業進出による「固定資産税の増加」(約9,700万円)などが主な理由です。

国や道から交付・補助されるお金(依存財源)では、ここ数年減額されていました「地方交付税」が、国の方策などを加味して、1億円の増加を見込んでいます。

また、昨年は、町の貯金(基金)から約1億4,000万円を取り崩し収入に充てましたが、平成20年度は12年ぶりに貯金を取り崩さずに予算編成しました。



## 一般会計予算額

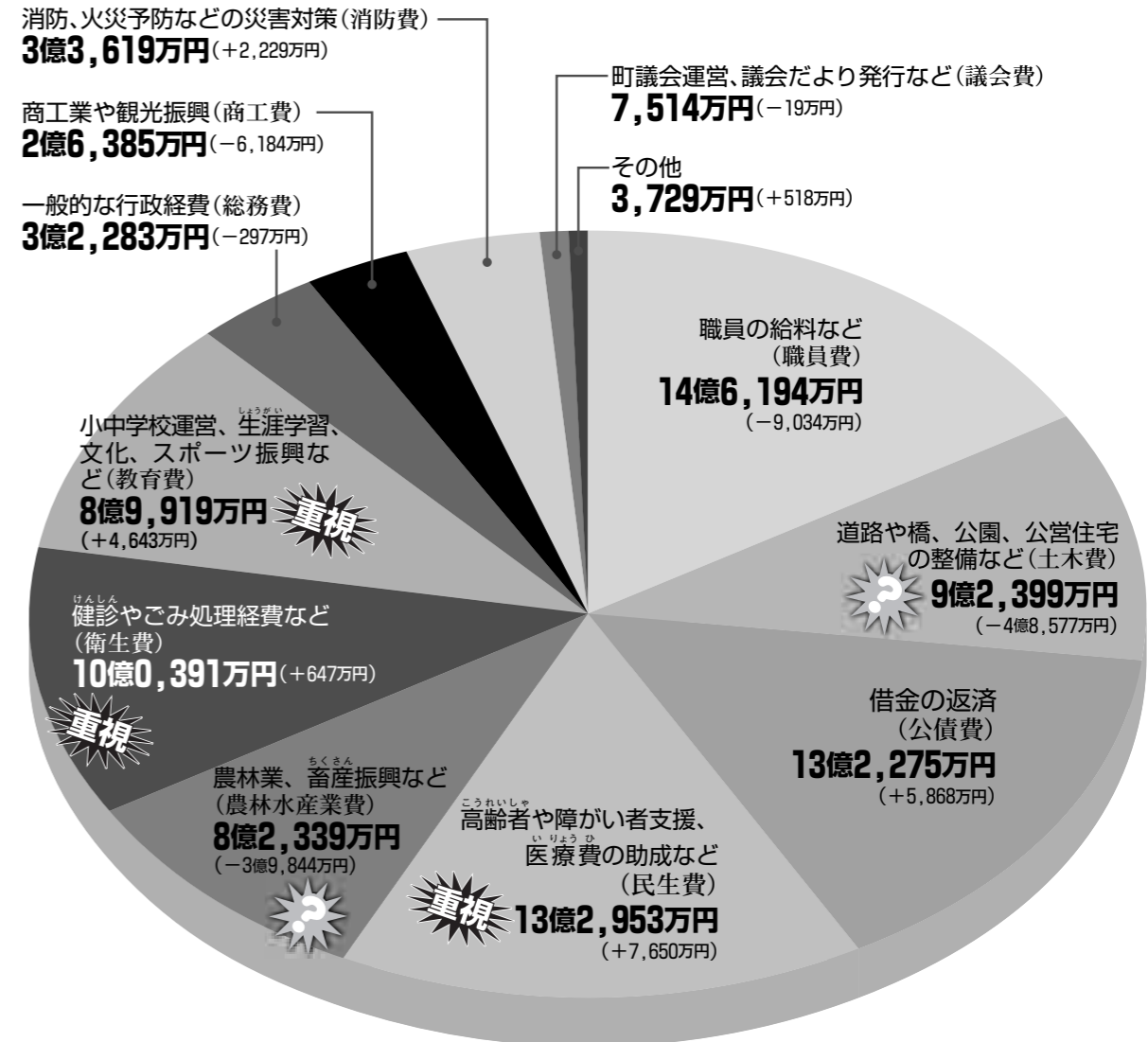
# 88億円

(前年比8億2,400万円減)

※特殊要素を除いた実質予算額は、89億6,064万円(前年比2億2,469万円減)

〔平成20年度の特異要素〕平成20年度に実施する「芽室西小学校大規模改修事業」(2億5,424万円)を平成19年度予算に計上(繰越明許費)していることなど(H20実質予算額は89億6,064万円)。  
〔平成19年度の特異要素〕通常一般財源を伴わない「道道2丁目通用地取得受託事業」(2億6,083万円)、有利利率借り替えのための「国営御影地区繰上償還」(5億3,200万円)、H18に予算化した「芽中大規模改修事業」2億3,546万円など(H19実質予算額は91億8,533万円)。

# 88億円 支出



## 民生費、衛生費、教育費を重視！！

乳幼児医療費の助成対象拡大、学童保育所の分所、後期高齢者医療制度の創設、オストメイトトイレの設置、障がい者の短期入所事業所の設置支援など「民生費」「衛生費」を重視しました。

また、小中学校の耐震・老朽化対応として大規模改修事業や、町単独で特別支援教育指導助手の配置、各小中学校へのAED(除細動器)設置など「教育費」を充実させました。

職員の給料(職員費)は、職員採用の抑制などにより、約9,000万円の減額となりました。

現状の課題解決を模索した結果、民生費・衛生費・教育費を強化した予算編成となりました。

主な、新規事業については、次ページをご覧ください。

## あれ!?

「土木費」「農林水産業費」合わせて約9億円の減!!なぜ?

「土木費」については、「大成地区公園整備」(1億3,000万円)が終了したこと、昨年度は「道道2丁目通用地取得受託事業(町費を伴わないもの)」(2億6,000万円)という特殊要素があったためです。

「農林水産業費」は昨年度に、有利な利率への借り替えのための「国営御影地区繰上償還」(5億3,000万円)という特殊要素があったため、「特殊要素」の少ない今年度は、大幅な減となっています。